

未来づくりへの挑戦！

～みんなの未来のために、「何ができるのか」を考える～



皆さんは、「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか。
SDGsは、持続可能な社会をつくりだすための、世界共通の目標です。
SDGsには、2030年までに達成しようとする17の目標があって、世界中の誰一人取り残さないことがキーワードとなっています。すなわち、中学生の皆さんも、その一人です。
今日も、世界各地で、皆さんと同じ年齢の子どもたちが、この目標達成のために取り組みをしていることでしょう。



皆さんが大人の仲間入りをする2030年、目標を達成できるようにするためには、それぞれの立場から目標達成のための行動をしていくことが求められています。

気候変動と地球温暖化

17の目標の一つには、「気候変動に具体的な対策を」という目標があります。
皆さんも、気候関連の自然災害が世界各地で発生していることを、ニュースなどで見たことがあると思います。

日本も例外ではなく、これからのシーズンになると、毎年のように「何十年に一度の大雨」、「過去最大級の台風が発生」などという言葉が天気予報で並び、実際に豪雨による洪水などが全国各地で相次いでいます。

この異常気象の原因の一つが「地球温暖化」と言われています。



～できるだけ「地球温暖化」を進行させないために～

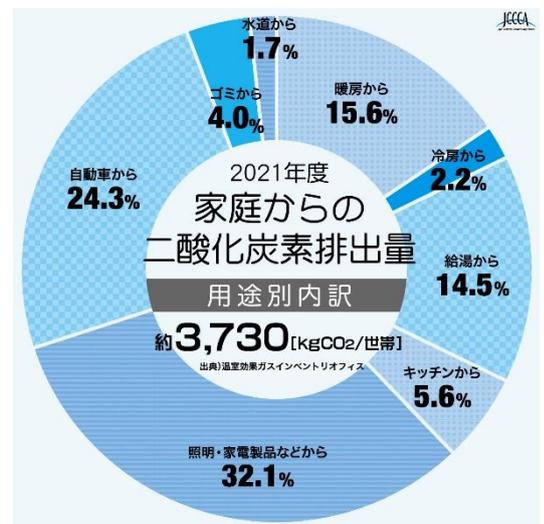
地球温暖化という問題は、異常気象だけでなく、さまざまな問題を引き起こしてしまうと予想されています。そのため、私たちは地球温暖化を防止するために「具体的な対策」をしていかなければなりません。私たちには、どんな対策ができるでしょうか。

それは、原因となっている温室効果ガス(二酸化炭素など)の排出量を削減していくことです。

右のグラフのとおり、私たちは、生活する中で電気やガス、ガソリンなどを使用する時に、二酸化炭素を排出しています。

二酸化炭素の排出をいきなりゼロにすることはできなくても、一人ひとりがエネルギーの無駄づかいを少しずつ減らしていくことで、大きな削減につながります。

未来にバトンをつなぐのは私たち一人ひとり、地球温暖化を「自分ごと」と捉えて二酸化炭素の排出削減に取り組んでいきましょう！





二宮の中学生が挑戦

「もったいない」行動からの脱出作戦！

生活の中でつい「もったいない」行動をしていませんか？私たちの生活には、電気やガス、ガソリンなどのエネルギーは欠かせず、大量のCO₂を排出しています。

無駄にCO₂を排出するような「もったいない」行動をこのまま続けると、最高気温が30℃以上となる真夏日の日数は更に増加し、21世紀末には年間103日、1年の3割近くが真夏日になります。それによって、お米やお野菜などの農作物を育てられなくなるなど、さまざまな問題が発生します。

このような問題を未然に防ぐために、「もったいない」行動から脱出するための作戦を考えましょう！

下の枠内にできそうな取り組みを考えて、記入してみてください。作戦内容を考えたあなたがリーダーです。

考えた作戦を家族や友人と共有して、皆さんで脱出作戦に取り組んでみてください。

頭をやわらかくして、
簡単に考えることが、脱出成功の糸口！？

例えば、お風呂や洗面所、台所でのお湯や水の出しっぱなし。たくさんの水を無駄に使用することになり、また、特にお湯は、電気やガスなどのエネルギーをたくさん使用することになります。

「必要以上に使わない」という一人の行動、それが家族や友だち、世界中の人も当たり前行動となれば、小さなことでも、その積み重ねはとても大きなものとなって、地球温暖化の緩和策へとつながります。

生活の中で、どんなエネルギーを使っているか、よく見渡してみましょう。



作戦①【家の中でできること】

作戦②【家の外でできること】

★「二酸化炭素（CO₂）」を減らすために、できることをやっぴいこう★

課題に取り組んでいただき、ありがとうございました。

身のまわりには物があふれ、豊かだと思っていた暮らしから一変、近年では新型コロナウイルスをきっかけに新しい生活様式を考え、実践することが求められてきました。

新型コロナウイルスのみならず、地球温暖化や海洋汚染などの様々な問題は、皆さんの未来を大きく左右する大問題です。

皆さんを含む次世代の人々にとって、豊かな暮らしのバトンを渡せるよう、あらゆる選択や行動につなげていってください。



環境問題にかかわる二宮町
役場のホームページをぜひ
ご覧になってください！

